

第59回日本臨床検査医学会学術集会

The 59th National Congress of Japanese Society of Laboratory Medicine

会期 平成24年11月29日(木)~12月2日(日)

会場 国立京都国際会館 会長 一山 智 (京都大学医学部臨床病態検査学 教授)



<http://www2.convention.co.jp/59jslm/>

日本臨床細胞学会共催企画

細胞診症例検討 一報告書作成にむけた所見のまとめ方を中心に一

日時：症例提示 11月30日(金) 10時00分~12月1日(土) 13:00

症例解説 12月1日(土) 13時00分~14:50分

会場；さくら

パネルディスカッション：子宮頸がんの征圧を目指して

日時：12月1日(土) 15時00分~17:00分

会場；さくら

シンポジウム 14 「実践 EUS-FNA ～検体処理法を中心に～」

日時：平成24年12月2日(日) 9:00 ~11:00

会場：第5会場 (国立京都国際会館・Room B-1)

日本臨床細胞学会共催プログラム①

＜細胞検査士研修単位（JSC・IAC）取得予定＞

細胞診症例検討 ―報告書作成にむけた所見のまとめ方を中心に―

会場；さくら

日時：症例提示 11月30日（金） 10時00分～12月1日（土）13：00

症例解説 12月1日（土） 13時00分～14：50分

解説；岡部英俊先生（滋賀医科大学）

症例提供；日本臨床細胞学会滋賀県支部・滋賀県臨床検査技師会

本症例検討では、疾患は特にテーマを決めず、臨床細胞学会滋賀県支部ならびに滋賀県臨床検査技師会のご協力を得て、一般的な病院で扱うことが多い材料から15例を選択した。今回の解説では、提示した写真の所見の中で診断に至る根拠となるものを、病変の組織所見と対応をとりつつ、解説、報告書にどのように記載するのかという点に重点を置いて一部の症例についてはイラストを用いて説明を加えた上で質疑応答を行う。

- 症例 1. 49歳女性 主訴；不整出血にて 材料内膜スメア
- 症例 2. 42歳女性 検診で卵巣腫瘍の疑い 材料内膜スメア
- 症例 3. 65歳女性 子宮癌検診に基づく二次検診
- 症例 4. 33歳女性 検診にて、乳腺腫瘍指摘され、穿刺細胞診施行
- 症例 5. 86歳女性 乳汁異常分泌物にて、乳汁塗抹細胞診
- 症例 6. 66歳女性 左乳腺発赤腫脹増悪し、炎症治療抵抗性のため、乳腺穿刺
- 症例 7. 30代男性 縦隔リンパ節腫大 リンパ節捺印
- 症例 8. 70代女性 右肺上葉浸潤陰影、気管支生検擦過細胞診で診断確定せず、
胸水貯留を認めたため穿刺細胞診実施
- 症例 9. 41歳男性 突然の気胸にて、受診 胸水穿刺
- 症例 10. 69歳男性 右肺上葉腫瘍(径3cm)を認め気管支擦過
- 症例 11. 84歳男性 咳の持続により受診喀痰細胞診
- 症例 12. 69歳女性 右肺尖腫瘍捺印
- 症例 13. 80歳女性 肺癌術後10年、肺炎疑いの肺陰影気管支擦過
- 症例 14. 60歳女性 肺多発結節と、縦隔腫瘍 肺穿刺
- 症例 15. 34歳男性 右肺尖部胸壁腫瘍手術時捺印

日本臨床細胞学会共催プログラム②

<細胞検査士研修単位 (JSC・IAC) 取得予定>

パネルディスカッション：子宮頸がんの征圧を目指して

会場；さくら

日時：12月1日（土） 15時00分～17：00分

司会：細川洋平先生（近江八幡市立総合医療センター）

江口光徳先生（宇治徳洲会病院）

1. 子宮がん検診の現状と問題点 ―ユーロジン参加の見聞を交えて―
加藤 順子 先生（日本セルネット）
2. LBC法導入の取り組みとその効果
小林 孝子 先生（福山市医師会診断病理学センター）
3. HPVテスト併用検診の取り組み
小海 志津子 先生（細胞検査士会 島根県支部）
4. イギリスの検診への取り組み
田淵 朱里 先生（Dako an Agilent Technologies Company）
5. 子宮癌検診結果の説明を実践して
今枝 義博 先生（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院）

特別発言

高橋 健太郎 先生（滋賀医科大学）

ねらい：検診における様々な取り組みや問題点について意見交換を行い、子宮を守るために細胞検査士に何ができるか一緒に考える

シンポジウム 14

「実践 EUS-FNA ～検体処理法を中心に～」

日時：平成 24 年 12 月 2 日（日） 9:00 ～11:00

会場：第 5 会場（国立京都国際会館・Room B-1）

司会 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 中泉 明彦
愛知県がんセンター中央病院消化器内科 山雄 健次

1. EUS-FNA の実際

良沢 昭銘（昭和大学横浜市北部病院消化器センター）

2. 大阪府立成人病センターにおける EUS-FNA の検体作成と細胞診断

竹中 明美（大阪府立成人病センター病理細胞診断科）

3. EUS-FNA の標本作製について－迅速ギムザ染色・セルブロック法を中心に－

古畑 彩子（京都大学医学部附属病院検査部）

4. 病理医の立場から

白石 泰三（三重大学医学系研究科腫瘍病理学）